

GakuNin RDM

研究データ管理サービス参加機関募集中

研究データを機関で一元的に管理する学術機関向けの Web サービス「GakuNin RDM」は、2020 年度後半にサービスインします。現在、事前にお試しいただける試験運用の機会を設けており、多くの機関にご参加いただいております。是非、この機会にこれからの新しい研究データ管理のあり方をご体感ください。詳細情報や試験運用への参加については以下のサイトをご確認ください。

<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/M4J7AQ>

学認 LMS

研究データ管理について学ぶ講座を開講

「学認 LMS」では、オープンサイエンスや研究データ管理に関する基礎的な内容を学べる講座等を提供します。研究データ管理支援者向け講座や、研究者向け講座の教材を、オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）と協力して制作しています。

研究データ管理の啓蒙・普及等にご利用いただけます。

詳細情報についてはこちらをご確認ください。
学認 LMS（試験運用中） <https://lms.nii.ac.jp/>

WEKO3

次期 JAIRO Cloud 始動

2020 年度後半の機関リポジトリサービス JAIRO Cloud のリニューアルに向けて、JPCOAR の協力を得ながら、「WEKO3」の開発を進めています。

次期 JAIRO Cloud への移行は、ツールを利用して半自動的に実施されます。2020 年度前半には移行後のイメージをつかんでいただくためのβテストを実施します。移行に関する最新情報はこちらをご確認ください。

https://community.repo.nii.ac.jp/news/info_WEKO3/

サービス分析

オープンアクセス推進のためのデータ分析

RCOS はシステム開発だけでなく、オープンアクセスを推進するためのデータ分析も行っています。現在は、図書館がグリーンオープンアクセス推進のために行っているいくつかの取組のうち、どの取組がどの程度有効なのかを説明可能な統計モデルを構築しています。今後は JPCOAR と協働し、有効性が明らかになった取組をサポートするための機能を JAIRO Cloud へ付加する予定です。

図書館・情報基盤センター・URA で支える 次世代型オープンサイエンス研究環境

NII Research Data Cloud

国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター（RCOS）のミッションは、世界最先端のオープンサイエンス研究環境「NII Research Data Cloud」を開発することです。

NII Research Data Cloud は、研究推進と研究公正の両側面から、組織的な研究データの管理と公開をサポートします。研究者がラボや共同研究プロジェクトの円滑な運営を実現するだけでなく、図書館や URA、情報基盤センターによる研究支援や環境整備に威力を発揮します。研究におけるデータの重要度は高まるばかりです。大学や研究機関における研究力の強化や、研究成果を国内外に効果的に伝搬していく環境の整備に、組織として取り組む時代です。NII Research Data Cloud は、全学的な研究データ管理やオープンサイエンスへの取り組みに必要な、すべての機能を提供します。

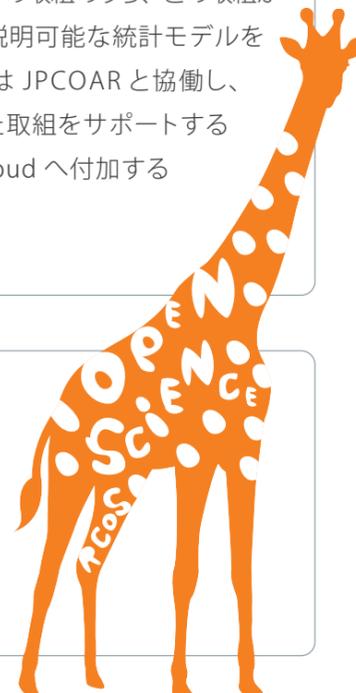
国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター



〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

e-mail rcos-office@nii.ac.jp

web <https://rcos.nii.ac.jp/>



オープンサイエンス推進のための研究データ基盤

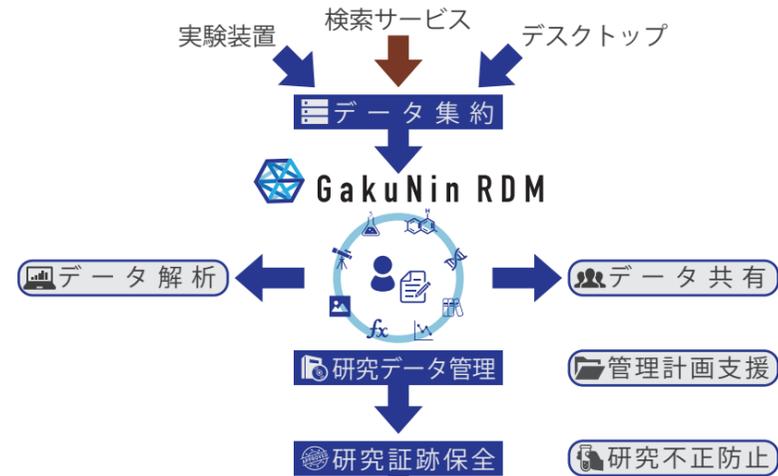
管理する



GakuNin RDM

公正かつ柔軟な研究データの管理

管理基盤(GakuNin RDM)は、個人の研究者が研究プロジェクトにおいて、研究データや論文ファイルを簡単に管理、共有できるクラウドサービスです。ファイルのプレビュー機能やバージョン管理、メンバー内でのアクセス制御、デスクトップとの同期機能などを基本機能として備えます。研究でよく利用される外部ツールとの連携や、研究公正への対応としての研究証跡を記録する機能など、日々の研究データ管理に必要な機能を順次拡充しています。組織が提供するストレージと接続して利用することで、各大学におけるデータポリシーやセキュリティポリシーに沿った研究データの管理が、負担なく実現できます。



GakuNin RDMでは、研究者が日々の研究活動で検索する先行研究の論文や関連する研究データ、自身の研究の実験装置、センサーや計算機などから観測・生成される研究データをサービスが集約し、一元的に管理できます。全ての研究データの入出力や操作をログとして記録し、研究証跡を保全することで研究不正を防止します。また、研究データのバージョン管理機能や多彩なプレビュー機能は、共同研究でのデータ共有に有効です。データ解析ソフトウェアなどの外部サービスと連携して利用することで、実験と理論の研究者が協働の場としても活用できます。

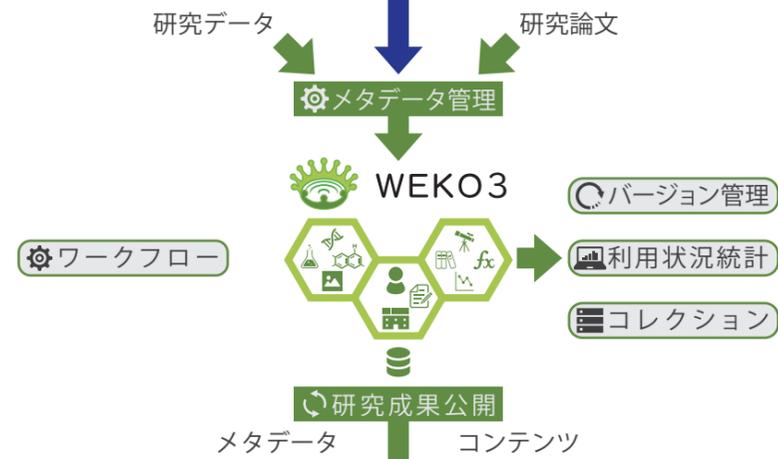
公開する



WEKO3

世界に向けた研究データの発信

公開基盤(WEKO3)は、研究者が公開すると判断した研究データや研究論文などの研究成果を公開するための次世代リポジトリシステムです。管理基盤と連携することで、簡単な操作により研究者自身で研究成果を公開でき、オープンサイエンスの世界に参加することができます。論文の書誌情報や研究データの説明に関わるメタデータ項目の設定機能、カスタマイズ可能なワークフロー機能、永続的識別子の付与機能など、リポジトリの運用において必要とされる機能を備えています。WEKO3は、機関リポジトリのクラウドサービス JAIRO Cloud を通して、最先端のリポジトリ機能を国内の大学や研究機関に提供します。



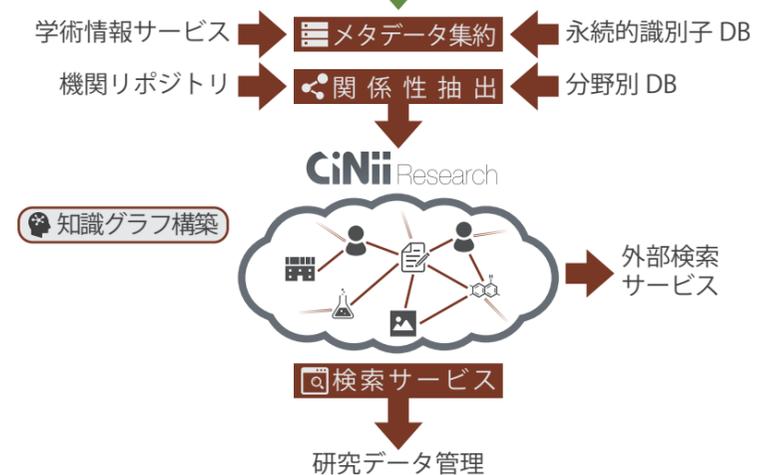
WEKO3では、研究データ・研究論文等の研究成果を公開するために、機関や研究分野の特性に対応した研究成果の保存・管理・公開を実現します。論文や紀要だけではなく、研究データなどにも DOI を付与することができます。バージョン管理機能により、アップデートされるコンテンツにも適切なアクセス手段を提供します。強化したワークフロー機能は、機関ごとの異なる運用方針や学内システム連携への柔軟な対応を可能にします。コレクション機能を活用して、学内の複数のリポジトリやデータベースを、1つにまとめて運用することも簡単にできます。

検索する

CiNii Research

知のつながりによる研究データの発見

検索基盤(CiNii Research)は、公開基盤や他のデータベースで公開された研究データとその関連情報を、横断的に検索するための次世代検索サービスです。研究データから得られた成果である学術論文や図書、それらの成果を生み出した研究者や研究プロジェクトなどの関係性を表現する、大規模学術知識グラフの構築をコア機能として備えています。知識グラフをよりリッチにすることで、研究者のニーズに合わせた多彩な情報探索空間を提供することができます。CiNii Researchは、研究活動に不可欠となる研究データや文献の発見だけでなく、新たな研究テーマの着想や実施をサポートするサービスへと進化します。



CiNii Researchでは、研究活動を表現する多様なメタデータを集約します。その対象としては、CiNii や KAKEN といった学術情報サービスに加え、WEKO3をはじめとする大学等の機関リポジトリ、JaLC や ORCID といった永続的識別子のデータベース、分野毎の研究データベースなどがあります。集約したメタデータから論文や研究データ、研究者、研究プロジェクトの関係を抽出して知識グラフを構築します。ある論文で使われた研究データを探したい場合にも、シンプルなユーザーインターフェースから、必要な情報を的確に得ることができます。